

2020（令和2）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
なごみの里

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①生産活動の充実と地域（市外も含む）との連携をしていく

②心身の健康を保持する

③APDL（応用的生活技術）の向上を習得する

④利用者の主体性を培う

⑤利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼を深める

（3）中期目標（令和2年度～4年度）

なごみの里の特徴として、自主生産品作業の充実を図り、販路拡大を目指して工賃向上につなげていく。また、販売を通して地域の福祉活動や行事に関わり、利用者・職員が地域とのつながりの中で活動できるようにする。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 40名（現利用者数：43名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 敷地面積 433.24㎡ 延床面積 494.9㎡

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名(兼務)
支援員 (常勤職員)	5名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	7名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	14名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (4回/年)	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (2回/月)	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	16名	15名	1名	43名
身障手帳	1名	2名	0名	0名	0名	3名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢39.9歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	1名	5名	3名	10名	1名	3名	23名
女	0名	7名	5名	2名	4名	2名	20名
合計	1名	12名	8名	12名	5名	5名	43名

最低年齢 男…18歳 女…20歳 最高年齢 男…72歳 女…74歳

平均年齢 男…40, 3歳 女…39, 5歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	清瀬市	東久留米市	合計
38名	1名	1名	1名	0名	2名	43名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	1名	5名	5名	3名	0名	29名	43名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～8:50	朝礼
8:50～12:00	作業・休憩
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:15	作業・ラジオ体操
15:15～15:30	清掃・終礼
15:30～	帰宅(送迎)

(2) 土曜日

8:30～8:50	朝礼
8:50～11:10	作業・休憩
11:10～11:30	掃除・終礼
11:30～12:00	昼食・昼休み
12:00～	帰宅(送迎)

6. 重点目標

(1) 生産活動の充実と地域との連携

- ①自主生産品の各種チップスの生産の効率化と出店場所・販路を拡大し作業の主力の一環として、地元以外の地域(市外イベント)も視野に入れて開拓していく。
- ②施設が主体となって催事を企画し、地域のサークル団体の参加協力を促し、より地域に根差した施設を目指していく。
- ③地域の自治会や懇談会に参加し、地域・施設へのニーズを把握し連携を図る。
- ④週2～3日、就労している利用者が継続して社会参加できるようにアフターフォローをしていく。工賃以外の収入確保をめざしていく。
- ⑤作業種目

作業種目	内容
受託事業	箱折り、ショッピングバック加工、段ボール組仕切り、シールはがし

清掃事業	中央公園、浅間山公園、白十字水やり・除草作業
自主生産品事業	ごま・各種ソース・納豆せんべい・バスポプリ
回収等事業	資源回収、(新聞・古紙・古着・段ボール・アルミ缶)
その他	自主生産品販売・段ボール作り(新光)などの出向作業

(2) 健康・衛生

- ①理学療法士による個々の運動プログラムをエアロバイク等の健康機器を利用し、肥満やケガの予防・機能維持ができるようにする。また、ダンス講師によるリズム体操を定期的(10回/年)に実施、楽しみながら体を動かし運動への動機づけとしていく。
- ②衛生管理の充実を図り、施設の空調機器など定期的に業者による清掃を実施。また、成人病(肥満等)や感染予防の対策を協力医療機関や理学療法士と連携して対応する。
- ③一般健診の他、歯科検診・口腔ケア(歯磨き指導)・婦人科・耳鼻科・眼科検診を実施し、健康状態を把握し家庭や医療機関と連携しながらアフターフォローしていく。また、歯科衛生士による歯磨き指導を実施し、口唇体操などアドバイスを基に個別対応し、保護者会を通して保護者にも口腔衛生の重要性の理解を深める。

(3) 応用的生活技術向上に向けた支援の充実

- ①グループ外出・クラブ活動・宿泊旅行など各種行事の中で交通機関の利用、身だしなみ(身支度)、買い物、洗濯、清掃など地域(自立)生活に必要なスキルを獲得していけるように支援する。
- ②必要な支援をしていく為に各関係機関・施設との関係づくりをすすめていく。

(4) 給食

- ①利用者の健康に配慮した食事提供など、給食会議を通して検討していく。
- ②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出などを工夫し、地域や保護者と共に楽しめる食事の場を提供する。
- ③選択メニュー(週2回)や食堂の環境など利用者の意見を取り入れながら、よりよく食事が楽しめるように工夫する。
- ④栄養基準量(一人当たりの栄養基準量)

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
679 kcal	24,4 g	96,2 g	19,6 g	97 mg	0,36 mg	0,32 mg	30mg

(5) 自治会活動

- ①行事やクラブ活動を中心に、利用者に関わる日課中の事柄に対し積極的に意見や希望を伝えられる場を提供する。(月1回定期開催他、必要に応じて開催する)

- ②自治会の場において、プロジェクターを使用し、利用者に必要な情報をわかりやすく伝えていく。

(6) 行事

①クラブ活動

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	ビックエコー（東村山駅前店）	第4水曜日
ボウリング	久米川ボウル	第2・第4月曜日
お風呂	スタジアムジャポン（東久留米市）	第3・4火曜日

クラブ活動 毎月1回 リズム体操 10回/年 *実施日は変更あり

②年間行事予定

	内 容
4月	歩こう会（保護者参加行事） 健康診断
5月	グループ外出① 子宮がん検診
6月	日帰りバス旅行（保護者参加行事）
7月	宿泊旅行（1泊2日）眼科検診
8月	夏祭り（地域参加行事） 防災館体験 夏期休暇
9月	恩多町地域運動会 グループ外出②
10月	グループ外出③
11月	山鳩会運動会（保護者参加行事） 予防接種
12月	仕事納め（クリスマス会・保護者参加行事） 冬期休暇
1月	成人を祝う会（保護者参加行事）・宿泊旅行日帰り
2月	グループ外出④
3月	炊き出し訓練（地域・保護者参加）

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①地域における災害時の拠り所として、防災用品・食料や水の備蓄をしておく。
 ②防災計画に基づき月1回防災訓練・年1回自衛消防訓練効果確認・防災館体験炊き出し訓練（地域・保護者参加）を地域・関連機関と連携して実施。

(2) 事故防止

- ①事故に対する意識を高めるために、警察署交通安全課と連携し安全教室などを実施する。
 ②車両管理担当者を中心に車両の不良・消耗等の確認をチェックシートに記入、

事故防止に努める。

③各送迎コースの道路状況や運転者の健康状態に留意し、事故防止に努める。

8. 施設外の方との関係

①自主生産品販売の販路拡大を中心に作業を通して広域地域（市外も含めた）との連携を模索していく。

②地域懇談会や地域団体活動に参加し、福祉施設についての相互理解を深める。

③施設の開放行事に地域参加を促し、施設見学訪問を積極的に働きかけていく。

9. 実習生の受け入れ

①地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。

②大学などの実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

①保護者の施設に対する理解・協力を頂けるよう、年に10回保護者会を開催する。

②毎月の予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。

③保護者参加の行事や作業などを通じて、相互理解を深め家庭との情報共有に努める。

(2) 親の会

①共催行事を通して、協力していく。

11. 職員研修

①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識（虐待防止・権利擁護など）を広め、職員の質の向上を図る。

・社協他関係機関、民間企業主催の研修会

②研修部会などを活かした取り組みを行う。

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設運営・行事全般
評価会議	2回/年	アセスメントの見直し
給食会議	6回/年	委託業者との検討会議
ケース会議	2回/月適宜	利用者個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について
自主生産品会議	1回/月	自主生産品について

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

担当窓口及び第三者委員を設置し、親切丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修に参加し、意識をもって取り組む。また、担当窓口を設置し丁寧に対応する。

(4) 虐待防止

担当者を配置し、虐待行為を未然に防げるように対応する。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042(395)5700
担当者	金子 伸一	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042(395)5700
担当者(男性)	松井 天平	同上
担当者(女性)	江川 美樹	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042(395)5700
担当者	加藤 譲太	同上